

芝浜

(2012)

高橋悠治

Violin

Cello

Piano

pizz.

Vln.

Vc.

arco

さしかわりまして、

毎度ばかばかしいことを…… さけは ひやくやくの長— なんてことを申しますが、

ほどほど でないと、よいことは ございませぬ。

芝浜

13 **1**

「ちよいと、くまさん」 「うう、— なんだい、なんだい」

Pf.

16

起きて 河岸へ 行ってくださいよ 「まだ はやいよ」

Pf.

19

はやい はやいと言ってるうちに おそく なりますよ。 もう

Pf.

22

十日もあきないを やすんで さげばかり飲んでるじゃないか。 うちには もう なにもないん

Pf.

25

だよ。 やつとあちこちにおたのみして もとでをこしらえてきたんだから、さあ

Pf.

芝浜

28 2 pizz.

Vln.

Vc.

Pf.

28 起きて 行っておくれよ 「う う、行くよ 行くよ」

31 arco

Vln.

Vc.

Pf.

31 盤台をかついででかけたから、 やつと行って くれたかと

34

Vln.

Vc.

Pf.

34 ほうぼう掃除して 一ぶくしていると 「ちよつと開けてくれ」

37

Vln.

Vc.

Pf.

37 「どうしたん だい」 「ちよつと 開けて 開けて」 「どうし たのさあ」

芝浜

3

40

「おい、だれか いないかい？」 「だれも いや

Pf.

44

44

しないよ、 どうしたんだい」 「まあ 聞いてくれ。 起こされて、

Pf.

48

48

おそい おそいつてえから 河岸へ 行ったら、 まだ 夜が 明けて ねえ じゃねえか。

Pf.

51

51

しかたが ねえ から しぼの はまへ 行って、

Pf.

54

54

うみの 様子 見ながら あるいは と、 なんか こう あしを 引っぼる

Pf.

芝浜

57

57 やつが いる。 ひよいと 見ると ひも が 引っ かかっ てん だよ。

Pf.

60

60 たぐっ てみる てえと、 そのさき に かわぎ いふ、 ずっ しり おも いんだ。

Pf.

63

63 二分金 で五 十 両。 いそい で はら がけの どん ぶりい

Pf.

4

65

65 ほうり こんで、 駆け 出して 来た 「じゃあ、 その財布 ひろって

Pf.

68

68 きたの かい？」 「そうよ」 「おとし たひと が ある だろうね」 「あたり

Pf.

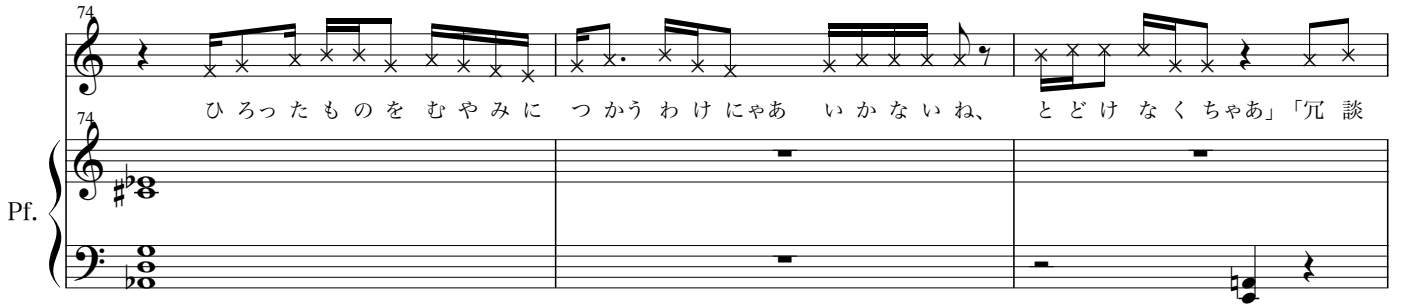
芝浜

71



めえよ。 ひろったものが ありゃあ おとしたやつが ある わけだ。

74



ひろったものを むやみに つかうわけにゃあ いかないね、 とどけなくちゃあ「冗談

77



言うねえ、 往来でひろっ たんじゃあねえ、 うみの なかで ひろっ たんだぜ。

80



おいらにさずかったかねだ、 とどけるにゃあおよばねえ 「それじゃあ、

芝浜

5

83

Vln.

Vc.

pizz.

83

6

5

このおかねをどうするつもりなの 「どうするの たったって……」 これでうめえ

Pf.

86

Vln.

Vc.

86

もの食って、 おめえに いい 着もの買っておれも いい 半纏着て、 ともだち

89

Vln.

Vc.

89

呼んで大盤振る舞い、 しこたま飲ましてご馳走するんだ 「そりゃあまあ、

92

92

さずかりものだ、 だけど夜が明けたばかりじゃないか。 ひと寝入りしてから……」

5

Pf.

芝浜

95

Pf.

「うれしくって寝られねえよ」「眼え つむってり寝られるよ、ねえ、いいから寝なよ」

98

Vln.

Vc.

arco

101

Vln.

Vc.

101

はつと眼が覚めるつてえと、もう陽がたかくなっていた。

104

Vln.

Vc.

pizz.

104

あさ湯に行つてかえりにともだちを五ろく人引つ張つて来た。「おう、

107

Vln.

Vc.



107



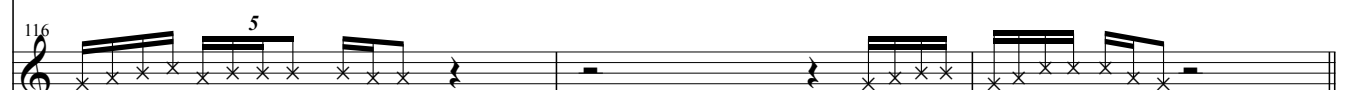
さげえ買つてきねえ、天ぶら そういつてこい、うなぎを あつらえてこう。たいへん

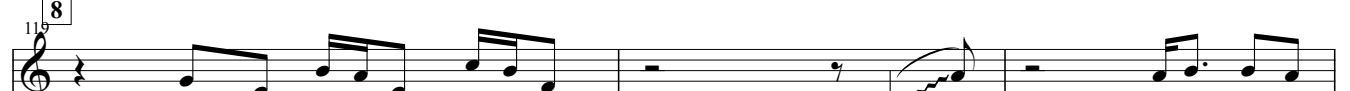

芝浜

Vln. 
 Vc. 

 縁起のい いめでてえことが あつからな、 おめえたちにも 飲ましてやつからよ う」

Vc. 

 さんざん 飲んだり 食ったり して、 みんなが行つちまうてえと、 くまさんは 前後忘却

Vln. 
 Vc. 

 その場で寝てしまいました。 そのうち あかりがついて……


 Pf. 
 「ちよいと、 くまさん、 くまさん」 「う う、 …… みず 一杯


 Pf. 
 くれ、 — …… あれ、 みんな どうしたい？

芝浜

125 9

125 けえった? そうか 「ちよいと、 お前さん、 今日はどうしたのさ あ?

Pf.

128

128 めでてえ めでてえって みんなに飲まして仕出し取ったりして、 あの勘定はどうして

Pf.

131 (声をひそめて)

131 はらうのさあ? 「あれからはらうときねえ」 「あれって?」 「ひろった五十両だよ」

Pf.

134

134 「え? 五十両ひろった? どこで?」 「しばのはまで、 買い出しに

Pf.

芝浜

10

137

Vln.

Vc.

Pf.

行って、ひろっ たじゃねえかよう」 「買い出しに? いつ行ったのさ? 今朝買い出しに

140

Vln.

Vc.

140

pizz.

行つとくれよ、たらお前さんどうしたい? あさ湯行かつて出たろ? かえりに大勢引つ張つて

143

Vln.

Vc.

143

来て、めでてえめでてえつて みんなで飲んだ。ね? そいで寝ちゃったから

芝浜

146 11

Vln.

Vc.

Pf.

いま起こした。 どこでひろったんだよ? 「え、じゃあ何だい」

149

Pf.

「ゆめかなんか見たね? おかねがほしいとおもってれば、そんなゆめも

152

Pf.

見るんだよ」 「なんだい、あれはゆめなのかい」

155

Pf.

「ゆめだよ」 「かねひろったのはゆめで、飲んだだけはほんとかい」

芝浜

158

「ほんとだよ」「ふうん」「ふうんじゃないよ。勘定はどうすんだよ？」

Pf.

161

「おどかすない。仕様が ないな。— あすから さけを 金毘羅さまい

Pf.

164

12 pizz.

Vln.

Vc.

Pf.

164 絶つよ

167

Vln.

Vc.

Pf.

つぎのあさはやく出て、買い出しをしまして、あちらこちらととくい

芝浜

170

Vln. arco

Vc. arco

さきをまわると、その日は おもいのほかあきないができた。 おもしろくなってきて、

173

Vln.

Vc.

あめ降りかぜ吹きもやすまず いち 年すぎ、二年すぎ、三年目の 大 みそか、

13

176

Pf.

「けえってきたよ」 「おかえり」 「これで ことしもとしが越せるなあ」

179

179

Pf.

「ほんとに、お前 さんよく はたらいたね。 今日 は 見せる もの が ある」

182

182

Pf.

ととだなから出したたけづつ さかさにとすると、 出てきた

芝浜

185

Vln.

Vc.

Pf.

かわの 財布、 なかからは 五十 両。

188

「おどろいたな、 こりゃあ しばはまでひろったんだ」 「そう、 あれさ」 「だって

191

Vln.

Vc.

ゆめだって言っ て」 「ま あ お聞きよ。 お前さんがこのおかねを三 年前 に

194

Vln.

Vc.

ひろっ て来てくれたとき、 わたしは うれし かつ たよ。 うれし かつ たけど、

196

Vln.

Vc.

この五十両 どうするのっ て 聞いてみたら、 た だ 飲ん だり 食っ たり い い 着ものを

芝浜

199

Vln.

Vc.

199

着たり、見栄につかってしまいそうだから、こりや大変、つかって

201

Vln.

Vc.

201

しまつて、あとでひろつたということが知れたら、どんなおとがめを

203

Vln.

Vc.

203

受けるかしのれない、だからね、わたしはお前さんが酔つて

205

Vln.

Vc.

205

寝てしまったのをさいわい、大家さんに相談して、とどける

207

Vln.

Vc.

207

ところへとどけたのさ。落としぬしが出なくていち年で

芝浜

209

Vln.

Vc.

209

それがもどってきたけど、 せつかくはたらき出したのにと おもっているうちに三年目、

212

Vln.

Vc.

212

やっと今日 はなすんだが、 かにんしとくれよ。 三年も絶つたんだから、

215

Vln.

Vc.

215

もういいだろう。 今日是一本おあがりよ

Vc.

218

「え、 ほんとうか 飲もうか」 「お飲みよ」 「ありが

Vc.

221

てえな あ、…… おつと 「どうしたの」

224

「よそう」 「なんで さあ？」 「また 夢に なると いけねえ」